

広報

さくほ



「あしもとから春」 撮影：地域おこし協力隊 山上雅子

●主な記事	特集① 残していきたい趣深き地域行事……………	2～5p
	特集② 大日向小学校の状況……………	6～7p
	特集③ 府中市姉妹都市交流協会報 こまどり……………	8～9p
	公民館報……………	22～29p



残していきたい



趣深き地域行事

日本には昔から習慣となっている行事が数多くあり、夏祭り・正月行事などは多くの地方で今も続いています。地域まで掘り下げれば、同じ行事でもその様相は多岐にわたり、趣深いものとなっています。しかし、そんな地域行事も人口減少による担い手不足、参加者の不足により失われつつあり、その影響は佐久穂町も例外ではなく、多くの地域で惜しくも継続できない行事が増えています。

今回の特集では、佐久穂町で今も失われずに行われている地域行事から2月行事の「天神まち」に注目し、行事の目的や他地域との違い、昔から今への様相の変化などを紹介します。

子どもの頃は楽しみにしていたけれど、今ではなくなってしまったという地域行事がどこの地域にもあるはずです。次世代を生きる佐久穂町の子どもたちが同じく楽しめるよう、もう一度見つめ直してみるきっかけにはいかがでしょうか。

■ 地域行事「天神まち」とは

本来は「天神祭」で、学問の神さまといわれる菅原道真すがわらのみちざねを祀る行事です。明治時代から「天神まち」、「天神講」は子どものお祭りとして受け継がれ、多くの地区に天神様の石祠が残っており、天神様の祠へお参りに行きます。現代では、地区児童会で行事を実施しており、お正月の獅子舞で集まったお金を使い、地区集会所施設に集まって親が作った五目飯を食べ、習字やゲームをします。

■ 「天神まち」の由来

『佐久の歳時記点描』によると、行事の成り立ちや習慣について、以下のとおり由来が示されています。

「天神講は学問の神さま、菅原道真を祭る子供組の行事である。寺子屋で読み書き算盤そろばんを中心に習っていた江戸時代にはもちろんのこと、明治時代に入って学制が敷かれてからも、天神さまは学問の神さまとして、一般庶民や子どもたちから、深い崇敬を集めていた。

菅原道真は平安時代前期の学者、政治家で、宇多天皇につかえて信任を蒙り、遣唐使に任ぜられ、次いで醍醐天皇の御代には右大臣に昇進したが、藤原時平とんげんの讒言だざいごんのそちによって太宰権帥に左遷され、配所で没した。

道真は書や詩文をよくし、また編史に携わる等、学問全般に秀でていた上に、平安時代における怨霊思想おんりようによって、京都北野に天満宮として祀られ、判官はんがん鼯鼠ひいきも加わって、広く学問の神として崇め尊ばれるに至った。明治初年まで寺子屋では1月25日の初天神、また3月25日に、奉納天満天神

宮と書いた御幣と、使い古した筆を神前に供えて祝詞をあげ、学問の上達を祈っていた。

その風習が学制施行後も受け継がれ、子供組によって天神まちが行われてきたが、次第に廃れ、今では天神講を行っているところは、残り少なくなってしまった。

以前は男女別々に個人の家を宿とし、そこへ薪および若干の金銭を持ち寄って天神講を行っていたが、今はPTAの協力によって、男女一緒に、公開場などで行っている。」

『佐久の歳時記点描』 小須田盛鳳・著 H.15.3より引用

■ 佐久穂町における過去の「天神まち」の様子

天神まちは地域によって行う時期、内容が大きく違いました。『佐久町誌 歴史編(三) 近-現代』によると、期日は2月25日付近の日曜日で、学習の成果や作文の発表を行うこととしており、天神まちは、大きくやらない、日没までに全部済ませるなど多くの申し合わせ事項の中で開催されたようです。当時の状況について『栄公民館報 (第三〇・三一号)』(二十七年)では、高野町翠町の場合を以下のとおり報じています。

「天神祭は、どんどん焼きから引き続き中学二年生が親方で、二月初旬から毎夜、当番の家を順に借りて劇の練習に入った。総勢20人は超えていて、練習後は出された茶菓で雑談して別れた。

天神祭の前日には、毎年高見沢和弘邸の二階（以前の蚕室で広がった）を借りて、小学校から教壇を運んで舞台をつくり緞帳を付けた。... 翌日の本番には、甘茶をたいて来場者に振る舞い、舞台ではプログラムに従って、全員が出場できるように、朗読・唱歌・寸劇の出番が与えられていて、終日、菅公も驚くほどの熱演が展開されていった。」

また、『八千穂村誌 民俗編』によると、天神ま치의時期は、筆岩、馬越、大石川は2月25日頃、畑八地区は2月の第一日曜日、鷺ノ口、下畑、中畑、上畑、大門などでは、2月上旬の寒中休みを利用して行い、集落によって異なったようです。

「大部分の集落では、昭和10年頃まで、天神様の押し絵や掛け軸などを公会堂や子供会の当番の家の床の間に飾り、五目飯を供えて勉強ができるように祈願した。... 現在、大部分の集落では、祭りの際に天神様の掛け軸をかけなくなった。また、学問の神さまの祭りとしての性格が薄らぎ、レクリエーション行事の一つになった。子供たちは、ゲームやクイズなどをして楽しんでいる。」

当時の状況について、下畑の場合を以下のとおり記録しています。

「下畑では、戦後頃までは公会堂に天神様の掛け軸を掛けて、こども達は学問ができるように五目飯などを供えた。その後、掛け軸が破れ使用できなくなり、かるた取り、劇などをして天神まちを続けた。さらに昭和60(1985)年頃からは、下畑と中畑が合同で天神まちをするようになった。」

『佐久町誌 歴史編(三) 近-現代』、
『栄公民館報 (第三〇・三一号)』(二十七年)、
『八千穂村誌 民俗編』 より引用



鷺ノ口の天神様の石宮

■ 現代の「天神まち」の様子

天神まちは古くから行われている行事ですが、現在では子どもの数の減少や、寒中休みがなくなったことにより、行事自体がなくなり、今も行っている地域は少なくなっています。以下では、まだ行事を行っている地区取材して、現代の天神まちなの様子を紹介します。

【畑ヶ中区】 平成31年 2月24日(日)

畑ヶ中区天神まちは、畑ヶ中集落センターにおいて朝10時から行われました。児童は、受付時に「奉書紙」に自分の名前を筆で書いて受付をし、1班8、9名の縦割り班毎にテーブルで集まって、トランプやクイズなどをして遊びます。その後、来年度から新1年生となる子どもたちの紹介があり、全員の紹介が終わったところで天神様の石祠にお参りに行きます。



天神様の石祠は、畑ヶ中集落センターの庭にあり、全児童が庭に集まって、お参りをします。6年生が代表となり、天神様へ食べ物と、受付時に記名した「奉書紙」を供え、児童全員で1年間の学業上達を祈ります。お参りが終わったところで、畑ヶ中区の天神まちは終わります。その後は、集落センター内で、保護者役員の皆様が作ってくれた五目寿司を食べ、6年生を送る会を行いました。

保護者会長の山口さんは、「昔は、天神祭の時に歌を歌ったそうだが、今では知っている人がおらず、歌われていない。また、天神様の石祠の隣にいくつも石碑があるが、なんの石碑なのかよくわかっていない、こうした風習がなくなってしまうのは悲しいことなので、今続いている文化を大切にしていきたい。」とお話されています。

【下畑区】 平成31年3月3日(日)

下畑区天神まちは、下畑公民館において朝10時から行われました。児童が集まると、テーブルの好きな場所に座り、遊びやお話をします。6年生の進行で、新1年生の紹介と、各学年の児童の自己紹介を行いました。

その後、各学年の発表を行います。学年ごとに児童が司会進行を行い、事前に考えてきたレクリエーションで他の学年のお友達を楽しませるように発表を行います。内容は、宝探しやクイズを行いました。レクリエーションで渡す景品は、獅子舞などの行事で溜めたお金を使い、児童が自ら買い出しを行います。全学年の発表が終わると下畑区の天神まちは終わります。その後は、6年生を送る会を行い、昼食を食べました。



児童会長の古屋さんは「本来は学問の神さまに学力向上を願うお祭りだとは聞いているが、下畑区は代々各学年の子どもたちの発表を行う場として地区に受け継がれている行事なので、この様式のまま、子どもの数も減ってきていても開催していきたい。」とお話されています。

「天神まち」の行事は、古くから伝わる由緒正しき行事として、代々受け継がれてきています。昔と今、また地域ごとに行事の様相は異なりますが、児童が集まり、交流を深め、学問の上達を願うという主旨に変わりはありません。

また、学問の上達を願う行事ではありますが、子どもたちの楽しそうな姿を見ると、心から地域行事を楽しみにしていると感じました。

人口減少や行事の担い手不足など地域の実情を考えると、地域行事の継続はとても難しいことです。しかし、一人でも多くの人が行事の継続を望めば、そこに人のつながりが生まれ、文化が息づいていきます。私たちが子どもだった時は当たり前のようであった地域行事について、改めて見つめ直してみてもいいのではないでしょうか。



大日向小学校 の状況



4月10日に初めての入学式を迎える学校法人茂来学園 大日向小学校（旧佐久東小学校跡地に開校）ですが、どのような状況になっているのか気になっている人も多いのではないのでしょうか。校長の桑原先生に今の状況を聞いてみました。



①初年度は、何名のお子様が入学されますか？

現時点で70名のお子さまが入学される予定です。

1年21名 2年19名 3年9名 4年14名 5年3名 6年4名となっています。

②入学する方はどの地域からいらっしゃる方ですか？

長野県在住の方が14名で近隣の市町村から入学されます。そのほかの方は全国各地から移住されてきますが、首都圏からの方が多いです。

③移住してきた方は、どこに住むことになっているのですか？

現時点では移住される方の中で佐久穂町に住居が決まっている方は10名程度です。佐久穂町への移住希望者は多いのですが、佐久穂町には住まいの選択肢が限られているので、まずは佐久市に住んでという方もいらっしゃいます。

④入学された方は、どうやって学校まで通うのですか？

佐久平から学校まで運行されるスクールバスの利用者が多いです。徒歩、保護者の方の車で送迎という方もいらっしゃいます。

⑤大日向地区にある学校ですが、大日向や佐久穂町の人たちと接点がありますか？

校舎を譲渡してもらう前から、地域の皆さまからご意見をいただきながらやってきました。学校名も地域の方と一緒に考えました。「季節のがっこう」（季節ごとに行う学校体験プログラム）では地域の方々のご協力があって実施することができました。

開校してからも、運動会や交流会、スポーツを通して地域の皆さまと一緒に楽しめる場づくりを企画しています。また地域の方々との交流スペースとしてランチルームを開放する予定です。

⑥入学されたお子様は、学童クラブ、児童館を利用することはありますか？

はい、あります。

⑦日本で初めてのイエナプランスクールということですが、先生はどういった方がいるのですか？

公立小学校で勤務されていた方も多く、イエナプラン教育について興味関心があり、研究をしてきた方々です。「自らが学び手」として日々チャレンジしてくれる先生たちです。

⑧ライフスタイルが大きく変わっても入学させたいという方が多いわけですが、その魅力はどこにあるとお考えですか？

「個を大切にし共に生きること」を大事にするという学校の理念に共感していただけたのかなと思っています。ご家族で実際に佐久穂町にいらしていただき、自然の豊かさに触れたこと、また、佐久穂町の方と一緒に時間を過ごすうちに、この場所で子どもを育てたいという思いが強くなったのだと実感しています。

佐久穂姉妹都市交流協会会報

第28号

こまどり

編集 佐久穂姉妹都市交流協会事務局（佐久穂町役場総務課内）

平成31年3月発行



桜の下で佐久穂をPR

佐久穂姉妹都市交流会は、東京都府中市との交流を促進し、両市町民の友好と信頼を深めるための活動を行っています。

平成30年度は、次のとおり活動を実施しました。なお、府中市との交流活動に興味のある方は、協会理事又は事務局（役場総務課）までご連絡ください。

桜まつり

4月7日、8日に府中市民桜まつりが府中公園で開催され、佐久穂町のPRと物産品の販売を行い、大勢のお客さんで賑わいました。また、物産品に加え、八千穂高原の雪を持っていき、触ったり遊んだり子どもを中心に大勢の方に喜んでもらいました。

役員改選

6月20日に開催された定期総会において、次の方々が役員に選任されました。なお、役員の任期は2年です。

理事長	高見澤太郎
副理事長	加藤東鬼破
会計理事	篠原のり子
理事	井出 正臣
理事	竹内 達朗
理事	黒澤 孝夫
理事	岩崎 行子
理事	石井 勇次
理事	渡邊 秋男
理事	由井 正宏
監事	山口 茂弥
監事	井出 征治
監事	(新任) 井出 征治
監事	(新任) 井出 征治

商工まつり

8月3日～5日の3日間、府中市・大國魂神社境内を会場として「商工まつり」が開催されました。

協会では、昨年に引き続きとうもろこし、トマトなどの野菜、プルーン、味噌などの特産品を販売し、佐久穂町のPRを行いました。

佐久穂の野菜や果物は、毎年楽しみにしている方も多

く、朝から行列ができるほど人気があり、用意した商品全てが大好評でした。

今年は猛暑だったため、人気のとうもろこしが、例年の三分の一程しか販売できま



野菜や特産品を販売

とうもろこし収穫体験

8月7日に、毎年好評の「親子とうもろこし収穫体験」が行われ、府中市から68名の親子が訪れました。

当日は、青空が覗く中、やさしい倶楽部の皆さんにご協力をいただきながら、収穫することができました。昼食時には、採れたてのとうもろこしを茹でて、参加した皆さんに味わっていただきました。



晴天の中でのススキ刈り

ススキ刈り

9月18日に府中市青少年健全育成対策第四地区委員会の皆さん15名が、町内佐口集落でススキ刈りを行いました。

この行事は青少年健全育成活動の一環として、刈り取ったススキを府中市で配布し、中秋の名月のお月見を楽しむ古来の伝統行事を傳承し、親子のふれあいを深めるために府中市が毎年行っています。

佐久穂町からも会員が参加し、約八千本のススキを刈り取りました。



新鮮なとうもろこしを収穫

スポーツ交流事業

11月3日にサッカーを通じてスポーツ交流事業を行い、佐久穂町少年サッカークラブの親子を中心に、総勢24名が参加しました。

今年は府中市小柳小学校の小柳まむし坂サッカークラブと交流試合を行いました。当日は11月とは思えない程の暖かさで、子ども達は汗を流しながら、楽しく真剣に試合を行っていました。試合後にはお土産のリングを渡し、サッカーを通じた交流をすることができました。



青空のもと記念撮影

友好訪問

11月18日、19日に恒例の府中市への友好訪問を行い、

府中市内にある施設の見学や市長への表敬訪問を行いました。

初日は、昨年オープンしたばかりの市民活動センター「プラッツ」で佐久穂の野菜や果物などを使ったお店で昼食をいただきました。午後は、大國魂神社とふるさと府中歴史館を学芸員の方に説明してもらいながら見学しました。くらやみ祭りで使用される神輿の見学もさせていただきました。

2日目は、午前中は府中市長への表敬訪問を行い、高速道路開通後の町の状況や今後の両市町について話をしました。



府中市長 表敬訪問

午後は、府中市近郊の東京オリンピックのバトミントン

会場となっている武蔵野の森総合スポーツクラブを見学しました。

星空観望会

11月28日に町内の小学4・5・6年生を対象に、府中市の移動天文観測車による星空観望会を開催しました。

しかし当日は曇りとなり、星空の観望ができなかったため、望遠鏡を使い数キロ離れた街灯の見え方を観察したり、室内でエアドームによるデジタルプラネタリウムの観察を行いました。

普段何気なく見ている星空の星座の説明を聞き、子ども達はとても興味深そうに聞き入っていました。



エアドームでプラネタリウムを鑑賞

会員募集!!

佐久穂町は東京都府中市と姉妹都市の交流を行っています。

当協会は交流事業の民間窓口として、両市町の相互理解と人々のふれあいを深めるために、様々な事業を実施してきました。今後もより多くの方が参加できるような事業の企画もしていきたいと考えております。

姉妹都市交流に興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

◆年会費

個人 一〇〇〇円
法人 一〇〇〇〇円

◆主な行事

府中市への友好訪問
各種イベントへの参加

◆事務局

総務課庶務係
電話 八六―二五二五

府中市民保養所「やちほ」の利用について

八千穂高原にある府中市民保養所「やちほ」に佐久穂町民の方は府中市民と同じ料金でご利用いただけます。

予約・お問い合わせ

■予約専用ダイヤル **0120-210-446**
(午前8時30分から午後9時まで)

宿泊料金 1人1泊(食事代別)の料金です。

区分	1室の利用人数	通常料金
府中市民 佐久穂町民	大人 (中学生以上)	2人以上 3,000円 1人 5,500円
	子ども(小学生以下)	1,500円
上記以外	大人 (中学生以上)	2人以上 5,000円 1人 7,500円
	子ども(小学生以下)	2,500円

・運転免許証など住所が確認できるものをお持ちください。

2019年度 春の狂犬病予防注射の実施について

- ・飼主は年1回、必ず狂犬病予防注射をさせなくてはなりません。
- ・新しく犬を飼い始めて、登録が済んでいない飼主の方は、住民税務課生活環境係にお問い合わせください。
- ・登録した犬を譲渡した場合、犬が死亡した場合は住民税務課生活環境係にご連絡ください。
- ・上記日程以外でも、動物病院で個別に注射を受けることができます。

4月10日(水)	旧佐久町
4月12日(金)	旧八千穂村
4月19日(金)	町内全域
料 金	登録済の犬1頭につき 3,500円 新規登録の犬1頭につき 6,500円
場所と時間	登録済の飼主には、場所と時間を記載したハガキが届きますので、ご確認ください。

【狂犬病予防注射会場でご注意いただくこと】

- ・犬の糞は、飼主が必ず持ち帰ってください。
- ・リードを短く持って、犬が飼主から離れないようにしてください。
- ・ご自分の犬と、他の犬とを近づけないようにしてください。
- ・注射の際、飼主に犬を押さえていただく必要があります。犬を押さえられないと、注射ができないことがあります。
- ・犬の体調が悪いと、注射ができないことがあります。

2019年度狂犬病予防注射日程表

●第1回(旧佐久町) 2019年4月10日(水)

場 所	時 間	場 所	時 間
役場佐久庁舎前	7:30 ~ 7:55	上本郷3大岳センター	8:10 ~ 8:20
大日向1区生活センター	8:15 ~ 8:20	上本郷4島田牛吉様宅横	8:25 ~ 8:35
大日向2区矢沢橋	8:25 ~ 8:30	旧影バス停前	8:40 ~ 8:50
大日向3区農協支所前	8:35 ~ 8:40	上区生活センター	8:55 ~ 9:05
大日向5区生活センター	8:45 ~ 8:55	榎林組様前	9:10 ~ 9:20
館公民館	9:00 ~ 9:10	柳翠区民センター(旧高野町多目的研修センター)	9:25 ~ 9:45
川久保集落センター	9:15 ~ 9:35	宿岩生活センター	9:50 ~ 10:00
余地中谷生活センター	9:45 ~ 9:55	羽黒下駅前	10:05 ~ 10:25
余地自成寺入口	10:00 ~ 10:10	花岡公民館	10:35 ~ 10:45
かさなり団地入口	10:15 ~ 10:25	下海瀬公民館	10:50 ~ 11:00
畑ヶ中集落センター	10:30 ~ 10:40		
陽だまりの家(佐久穂町障がい者福祉施設)	10:50 ~ 11:00		

●第1回(旧八千穂村) 2019年4月12日(金)

場 所	時 間	場 所	時 間
八千穂福祉センター前	7:35 ~ 8:00	下畑公民館	8:10 ~ 8:20
大門高根区民館前	8:05 ~ 8:10	城山公民館	8:25 ~ 8:35
山口肉店様横	8:15 ~ 8:30	佐口公民館	8:40 ~ 8:50
筆岩公民館	8:45 ~ 8:50	うその口公民館	9:00 ~ 9:10
高岩消防庫前	9:00 ~ 9:05	松井公民館	9:25 ~ 9:35
ひだまり団地駐車場	9:10 ~ 9:15	八郡公民館	9:45 ~ 9:55
穴原消防庫前	9:20 ~ 9:30	柳沢公民館	10:05 ~ 10:15
崎田公民館	9:35 ~ 9:45	馬越公民館	10:20 ~ 10:30
大石区民館	9:55 ~ 10:05	千ヶ日向公民館	10:35 ~ 10:45
スキー場管理棟前	10:25 ~ 10:30	商工会八千穂支所	10:50 ~ 11:00
		天神町区民館	11:05 ~ 11:15

●第2回(旧佐久町) 2019年4月19日(金)

場 所	時 間	場 所	時 間
大日向3区農協支所前	8:40 ~ 8:50	下畑公民館	8:30 ~ 8:40
余地自成寺入口	9:00 ~ 9:10	大門高根区民館前	8:45 ~ 8:50
川久保集落センター	9:15 ~ 9:25	大久保公民館	8:55 ~ 9:05
陽だまりの家(佐久穂町障がい者福祉施設)	9:40 ~ 9:55	上野公民館	9:10 ~ 9:15
下海瀬公民館	10:05 ~ 10:15	佐口公民館	9:20 ~ 9:25
羽黒下駅前	10:25 ~ 10:40	八郡公民館	9:35 ~ 9:40
柳翠区民センター(旧高野町多目的研修センター)	10:50 ~ 11:05	大石区民館	9:50 ~ 10:00
上区生活センター	11:15 ~ 11:25	馬越公民館	10:05 ~ 10:10
		高岩消防庫前	10:20 ~ 10:25
		穴原消防庫前	10:30 ~ 10:35
		崎田公民館	10:40 ~ 10:45
		天神町区民館	10:50 ~ 10:55
		商工会八千穂支所	11:00 ~ 11:05
		八千穂福祉センター前	11:10 ~ 11:20

■問い合わせ先

佐久穂町役場 住民税務課 生活環境係
☎86-2552

佐久穂町の事業者を応援します!

佐久穂町雇用促進助成金ご活用ください

町内の中小企業における雇用の促進ならびに人材不足の解消の一助となるべく、従業員雇用について助成金制度を実施中です。新卒・中途採用を問わず、町外在住者の雇用についても助成します。助成金の用途は定めませんので、例えば、従業員が抱える奨学金への補助や、採用活動の拡充などにご活用いただけます。

4月以降の新規採用等においても、活用をご検討ください。

概要は下記のとおりですが、ご不明な点や詳細は、産業振興課 商工観光係までお問い合わせください。

対象となる雇用期間と事業主等の要件

平成30年4月1日から
平成32年3月31日

平成32年3月31日までの雇用

- 1年以上の継続雇用
- 社会保険等完備
- 雇用日前6か月以内に事業主都合解雇をしていない
- 町税の滞納がない
- 労働関係法令違反がない
- 新卒・中途は問わない

対象労働者の要件(1人につき1回の助成)

- 60歳未満(雇用時)
- 事業主の3親等以内の親族でない
- 同様の事業主(関連会社含む)に3年以内に雇用されていない

助成額

町内在住従業員
30万円(町外10万円)

手
続
き
の
流
れ

申 請

対象労働者の
採用後速やかに

報 告

- ・ 6ヶ月後
- ・ 1年後

交 付

※交付後6か月以内に事業主都合
解雇をした場合等は取り消し

※申請や報告等に各種様式がございます。町ホームページ等でご確認ください。

佐久穂町役場 産業振興課 商工観光係 ☎88-3956(直通)



記事内容の誤りについてお詫びと訂正

平成31年2月28日発刊の「広報さくほ2月号」に掲載しております記事中、字句の誤りがありましたこと、お詫びと訂正をいたします。

表紙写真下の説明部分「撮影：地域おこし協力隊 山下雅子」は、正しくは「撮影：地域おこし協力隊 山上雅子」です。

総合政策課 情報政策係 ☎0267-86-2553

[広告欄]

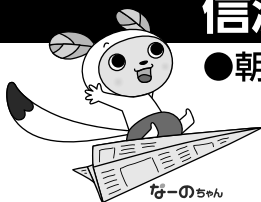
無料相談 相続・遺言・農地のことなど

〈毎月第2・4木曜日を予定、変更も有り〉
4月11日(木)・25日(木) 10:00~12:00

相続・遺言セミナー 4月21日(日) 14:00~16:00

※テーマ「相続法の改正」遺言の実例その他
会場：茂来館2階学習室 ※ご予約の方優先
一般社団法人 全国相続協会相続支援センター会員
行政書士 竹内 達朗 (相続の窓口)
☎0267-86-3717 FAX86-3727

信濃毎日新聞販売店 配達スタッフ大募集



- 朝の短時間で高収入!
 - 運動不足の解消や健康に!
 - 女性も多数活躍中!
- 配達順路を覚えれば誰にでもできるお仕事です。ゆっくり丁寧にお教えます。

webページもご覧ください⇒

信濃毎日 配達アルバイト

検索

ご不明な点は下記までお気軽にお問い合わせください。

信毎販売店会事務局 ☎026-236-3263 (平日 10:00~17:00)

挑戦する部活

第9回 バスケット部

8年7人7年4人合計11名で活動する男子部員の平均身長は決して高くはないが、その分を走力でカバーをするプレースタイルだ。走力をつける練習を怠らない。次の佐久大会でベスト4を目指して練習に熱が入る。8年生でキャプテンの井出凌平さんは、「バスケットの魅力は、他の球技に比べて点数が入りやすいため競り合いが多くなり、試合がすごく盛り上がる場所です。」と語ってくれた。

女子部は、8年3名7年2名のため、バスケットの一チームの人数である5名ギリギリである。試合形式の練習ができないため、個人的な技術や体力の向上を目的とした練習に取り組んでいる。キャプテンの友野伶さんは、バスケットの魅力「試合中は走り続けるので、とてもつらいけど声を掛け合っていればやる気がでてくるし、遠くからシュートが入るととても気持ちがいい場所です。」と明るく話をしてくれた。仲良く声を掛け合い楽しそうなバスケット部、春に新7年生を迎え、新しいチームでの佐久大会の活躍に期待したい。



第6回

ほいくえんだより

問合せ 栄保育園
☎0267-86-2186

豆まき交流会

栄保育園では、地域の高齢者との交流会も兼ね、立春を前に豆まきを行いました。この日を迎えるにあたり、子どもたちは“オニ”のお面と豆を入れる箱を手作りで準備します。それぞれに個性あふれる“オニ”ができあがり表情もさまざまです。

当日は、お面をかぶり、豆入れを持って遊戯室へ集まりました。はじめに、地域の方の紹介をし、「おじいさんの小さい頃はね・・・」といった子どもの頃の話をしていただきました。

保育園の豆まきは、子どもたちにわかりやすいように、「泣き虫鬼」「怒りんぼ鬼」など、自分の心の中に住んでいるかもしれない悪いものを鬼と捉え、「追い払おう!」と伝えます。年齢ごとに、豆を投げる人（退治する側）、拾う人（退治される側）にわかれ、地域の方も加わってにぎやかに行ないました。

豆まきが終わった後は、クラスの輪に入ってもらい、一緒に歳の数だけ?おいしく豆をいただきます。

みんなで仲良く分け合ったり、皮をむくのを手伝ってもらったりしながら嬉しそうに食べる様子は、とても微笑ましく交流の温かさを感じます。

大切にしたい行事のひとつです。



information

News

出生祝金を贈呈しました

■問合せ こども課 子育て支援係 ☎0267-86-4940

2月25日に6名のお子さんへ出生祝金を贈呈しました。

*平成30年9月・10月生まれのお子さんです。



お知らせ

こどもセンターさくほっこからのお知らせ

■問合せ 佐久穂町こどもセンター ☎0267-86-2123

■『4月 こどもセンターさくほっこ行事』

～♪春がきた!! さくほっこにあつまれ～!♪～

親子で手遊びや体操などを行います。

日時：4月18日(木) 10:00～11:00

場所：こどもセンターさくほっこ ホール1

対象者：就学前のお子さんと保護者の方

参加費：無料、事前の申し込みも必要ありません。

持ち物：水筒、必要に応じて軽食やおやつなど。

■『読み聞かせ おひざでだっこ』

～図書館司書などによる読み聞かせ～

日時：4月23日(火) 10:00～11:00

場所：こどもセンターさくほっこ ホール1

対象者：就学前のお子さんと保護者の方

参加費：無料、事前の申し込みも必要ありません。

～こどもセンターさくほっこからのお知らせ～

- 4月から、『読み聞かせ おひざでだっこ』のあとにその月のお誕生会を計画しています！
誕生月以外のおともだちも参加できます☆
おたのしみに♪

- 「おしゃべりルーム」は平成31年度より「すくすくTIME」に名称を変更します。
知育あそび、親子あそびをメインに講師の先生をお招きして行います。5月から開催しますので、お気軽にあそびにきてください♪

佐久穂町こどもセンターさくほっこ
〒384-0503 佐久穂町大字海瀬309番地
(旧佐久中央小学校)
☎・FAX 0267-86-2123

information

お知らせ

平成31年度「なんでも心配ごと相談所」の開設について

■問合せ 総務課／住民税務課 ☎0267-86-2525

町では、「行政相談所」「人権相談所」合同の「なんでも心配ごと相談所」を開設します。専門の相談員が相談に応じます。相談は無料で、秘密は厳守します。お気軽にご相談ください。

年	月 日	曜日	場 所
平成31年	4月26日	(金)	八千穂老人福祉センター
	5月17日	〃	茂来館
	6月28日	〃	八千穂老人福祉センター
	7月26日	〃	茂来館
	8月23日	〃	八千穂老人福祉センター
	9月20日	〃	茂来館
	10月25日	〃	八千穂老人福祉センター
	11月15日	〃	茂来館
	12月20日	〃	八千穂老人福祉センター
平成32年	1月24日	〃	茂来館
	2月21日	〃	八千穂老人福祉センター
	3月13日	〃	茂来館
開設時間 毎回9:00～正午まで			

相談員	相談内容	事務局
行政相談委員	役所の仕事に関する苦情や意見・要望についての相談	総務課 庶務係
人権擁護委員	不当な差別、いじめ、プライバシー 外国人、近隣関係、家族関係、相続、遺言、金銭貸借などの問題についての相談	住民税務課 人権政策係



お知らせ

平成31年度 町税等の納期限及び口座振替日一覧

税目等	納期月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
町 県 民 税 (普通徴収)				1期		2期		3期		4期			
固 定 資 産 税		1期			2期		3期		4期				
軽 自 動 車 税			全期										
国民健康保険税 (普通徴収)				1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期		
後期高齢者医療保険料 (普通徴収)				1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期		
介 護 保 険 料 (普通徴収)	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	9期	10期	11期	12期	
町 営 下 水 道 料 (農 集)		2・3 月分		4・5 月分		6・7 月分		8・9 月分		10・11 月分		12・1 月分	
納 期 限 (口座振替日)	5月7日 (火)	5月31日 (金)	7月1日 (月)	7月31日 (水)	9月2日 (月)	9月30日 (月)	10月31日 (木)	12月2日 (月)	1月6日 (月)	1月31日 (金)	3月2日 (月)	3月31日 (火)	

★税・料金は期限内の納付をお願いします!!

口座振替の方は、振替日の前日までに必ず口座残高を確認してください。

現金納付の方は、役場会計室または各金融機関窓口にて納付してください。

★税・料金の納付は安全で便利な口座振替をおすすめします!!

口座振替の手続きは役場各窓口または八十二銀行、佐久浅間農協、ゆうちょ銀行(郵便局)でお願いします。

information

おしらせ

「故 大工原正治消防司令長 二周年追悼式」が開催されました。

■問合せ 佐久広域連合消防本部総務課 ☎0267-64-0119 総務課 ☎0267-86-2525

一昨年の3月5日に発生した県消防防災ヘリコプター墜落事故で殉職された、故大工原正治消防司令長の慰霊碑除幕式と追悼式が、2月23日(土)に佐久広域連合消防本部において、同本部主催で開催され、参列した皆様のご冥福をお祈りしました。

大工原正治消防司令長は、佐久穂町出身の消防士として、佐久地域の消防業務に従事され、当町消防団のポンプ操法訓練においても的確な指導をいただきました。勤務以外では、南佐久地区山岳遭難防止対策協会佐久穂町班の山岳救助隊員としてもご活躍されました。

このように、地道に人一倍の努力を続け、安全・安心な地域づくりに全力を注いできた大工原消防司令長の慰霊碑は、出身地の当町で採れた鉄平石が使われ、碑文には、「三回忌に当り慰霊の碑を建立し永くご冥福を祈念する」と刻まれました。



おしらせ

JR乗車券の購入は、羽黒下駅・八千穂駅をご利用ください。

■問合せ 総務課 庶務係 ☎0267-86-2525

羽黒下駅・八千穂駅では、普通乗車券をはじめ、通勤・通学に使う定期券、新幹線の乗車券もご購入いただけます。ぜひ町内の駅をご利用ください。（羽黒下駅・八千穂駅は、JRとの契約により佐久穂町で運営しています。売り上げの一部が町の収益となります。）

ご不明な点は下記までお問い合わせください。

羽黒下駅 ☎0267-86-2019

八千穂駅 ☎0267-88-2040

事前にご連絡いただくとスムーズにお買い求めいただけます。

※注意※

- ・クレジットカードでの購入はできません。
- ・管理人が不在の場合もありますので、ご了承ください。



information

お知らせ

「30歳の同窓会」が開催されました

■問合せ 総合政策課 政策推進係 ☎0267-86-2553

2月10日(日)に、旧佐久中学校を卒業した30歳の同窓生の皆さんが集まり、「30歳の同窓会」が開催されました。

午前中は、普段なかなか訪れることができない佐久穂小・中学校や奥村土牛記念美術館を見学し、午後からは、白樺や地元花卉農家さんが作ったフラワーアレンジメントなどで装飾された茂来館で、立食パーティを行いました。町内飲食店の料理を堪能しながら、久しぶりに会う仲間や恩師との思い出話など、終始、笑顔の絶えない同窓会となりました。

あらためて、同窓生とのつながりや佐久穂の魅力を感じることができた一日になったのではないのでしょうか。「35歳、40歳でまた集まりたいね。」といった声もあったそ

うです。当日の様子については、さくほ通信ホームページをご覧ください。

町では、仕事、結婚や子育てといった人生の岐路にある30歳前後の町出身者へ、もう一度自分の生まれ育った地元と仲間を感じる機会として、30歳の地元での同窓会を企画・支援しています。

来年度に佐久穂町出身で30歳を迎える同窓生の皆さん、佐久穂町で同窓会を開催しませんか。



お知らせ

25歳以上70歳以下限定！皆さんの同窓会を企画しませんか

■問合せ 総合政策課 政策推進係 ☎0267-86-2553

町では、年数を経るにつれて薄れていく「同級生のつながり」を見つめ直し、同級生コミュニティの活性化を図ることを目的に、同窓会支援補助金を実施しています。

《対象となる同窓会》

- ・町内の小中学校を卒業した方を対象として開催されるもの（閉校になった学校も含む）。
- ・同一の学校等の卒業生で、学級又は学年の単位で開催されるもの。

《補助要件》

- ・町内で開催されるもの。
- ・25歳以上70歳以下の者（ただし41歳以上の者は学校等公共施設へのボランティアによる清掃等の実施を要件とします）。
- ・出席者10人以上で、うち町外に住所を有する者が2割以上出席すること。

（学級又は学年で行う同窓会の対象者が10人に満たない場合は半数以上の出席で要件を満たすものと

します）

- ・アンケート調査や町のパンフレット配布へ協力すること。

《補助金額》

- ・出席者1人につき、2,000円を交付します。

※同窓会に係る経費や清掃等に要した経費が、上記に満たない場合は支払総額が上限となります。

※同一の同窓会に対する助成は、同一年度内に1回のみとします。

※この補助制度は平成31年度までを期限として実施します。



information

お知らせ

農業振興地域整備計画の総合見直しを実施します

■問合せ 産業振興課 農政係 ☎0267-88-2528

町では、農業振興地域整備計画の総合見直し作業を進めています。この計画は「農業振興地域の整備に関する法律」に基づき、おおむね今後10年先を展望した、農業の健全な発展など農業振興の方向を明らかにし、これに即して農振農用地などの用途区分を策定（変更）するものです。

農地に農業用施設や住宅等を建てる場合、その土地が農業振興地域内の「農用地区域」に指定されている場合には、用途の変更や農用地区域からの除外（農振除外）の申し出が必要となります。

この総合見直しに伴い、整備計画の随時変更につきましては申請の受付を年2回（5月、11月）行ってきましたが、関係機関との協議等が伴うことから次のとおり一時休止します。

■農振除外等の申請期限

1. 随時変更の受付

平成31年11月まで

2. 受付休止期間

平成32年度（5月、11月）

3. その他

総合見直しは平成33年3月を完了予定としていますが、関係機関との協議によっては、受付休止期間に変更が生じる可能性があります。変更が生じる際には、広報等でお知らせいたします。

お知らせ

春の山火事予防について

■問合せ 北部消防署 ☎0267-82-0119 総務課庶務係 ☎0267-86-2525 産業振興課林務係 ☎0267-88-2529

■春の山火事予防運動

期間：3月1日から5月31日

『忘れない 豊かな森と 火の怖さ』

春先は空気が乾燥し、火災が起こりやすくなっています。火災はちょっとした不注意から発生しますので、火の取扱いには十分注意しましょう。

特に、土手焼きなどからの延焼による火災が多発しています。風の強い日や空気が乾燥している時には、火入れを行わないようにしてください。

また、山菜取りやハイキングなどに出かける時には、火の元に十分気を付け、タバコの投げ捨ては絶対にやめましょう。

■重点事項

- ・枯草等のある火災が起こりやすい場所では、たき火をしないこと。
- ・たき火等火気の使用中はその場を離れず、使用後は完全に消火すること。
- ・強風時及び乾燥時には、たき火・火入れをしないこと。
- ・山林に火入れを行う際は、市町村長の許可（森林法第21条関係）を必ず受けること。

- ・焚火や土手焼きなどを行う際は事前に北部消防署へ「火災とまぎらわしい届出」を届け出ること。
- ・火遊びはしないこと。

■住宅防火いのちを守る7つのポイント

- ・寝たばこは、絶対やめる。
- ・ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ・ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。
- ・逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- ・寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
- ・火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- ・お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

information

お知らせ

児童扶養手当・特別児童扶養手当額改定のお知らせ

■問合せ こども課 子育て支援係
☎0267-86-4940

ひとり親家庭等に支給される児童扶養手当および精神または身体に障がいのある児童を養育している家庭に支給される特別児童扶養手当について、平成30年全国消費者物価指数の実績値(対前年比+1.0%)が公表された結果、平成31年度の児童扶養手当および特別児童扶養手当額が下記のとおり1.0%引き上げとなりました。

■ひとり親家庭等に支給される児童扶養手当

平成31年4月～		手当月額
第一子	全部支給	42,910円 (+410円)
	一部支給	42,900円～10,120円 (+410円～+90円)
第二子	全部支給	10,140円 (+100円)
	一部支給	10,130円～5,070円 (+100円～+50円)
第三子	全部支給	6,080円 (+60円)
	一部支給	6,070円～3,040円 (+60円～+30円)

■精神または身体に障がいのある児童を養育している家庭に支給される特別児童扶養手当

平成31年4月～		手当月額
1級該当児童		52,200円 (+500円)
2級該当児童		34,770円 (+340円)

お知らせ

図書館だより

■問合せ 佐久穂町図書館
☎0267-86-7020

●とちの実おはなし会

日時 4月13日(土) 15:00～16:00
場所 図書館多目的室
内容 絵本の読み聞かせ ほか

●「こども読書の日」関連イベント

日時 4月27日(土) 14:00～
場所 図書館内
内容 図書館クイズ大会 ほか

★詳細は館内チラシ等でご確認ください。

●移動図書館車の巡回について

4月の巡回は1回です。

- Aコース：16日(火)
- Bコース：17日(水)
- Cコース：18日(木)
- Dコース：19日(金)



*本の貸出だけでなく、図書館で借りた本の返却にもご利用いただけます。

★各ステーションの停車時間等は、配布の巡回日程表をご覧ください。

お知らせ

町教育委員会の活動と定例会の日程

■問合せ 教育委員会 こども課 学校教育係 ☎0267-86-4940

平成30年度の活動は、定例会を12回開催し、区域外就学の審議、後援承認協議、準要保護審査など議事案件の協議、教育に関する様々な課題に対する意見交換など活発な会議を行ってきました。また、小中学校長との懇談、英語授業参観、給食試食会など小中学校とのつながりを大切にしてきました。さらに、県内外の研修総会に参加し委員としての研鑽も重ねてきました。

定例会は傍聴できますので、
お出かけください！

平成31年度定例会日程

4月3日(水)	10月2日(水)
5月8日(水)	11月6日(水)
6月5日(水)	12月4日(水)
7月3日(水)	1月8日(水)
8月7日(水)	2月5日(水)
9月4日(水)	3月4日(水)

時間：午後2時から

場所：佐久穂小・中学校会議室

※日程は変更になる場合がありますので、事前にお問い合わせください。

information

イベント

ツールド八ヶ岳の開催について

■問合せ 産業振興課 商工観光係
☎0267-88-3956

今回で33回目を迎える「ツール・ド・八ヶ岳」が下記のとおり開催され、県内外から1000名を超える参加者が佐久穂町を訪れます。沿道での温かい声援をお願いします。

1. 開催日 平成31年4月14日(日)
2. 時間 午前9時スタート
3. 場所 堂河原地籍～麦草峠

※当日は国道299号が交通規制により一時通行できなくなります。近隣住民の皆様にはご迷惑をお掛けしますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。

※大会当日お手伝いして頂けるボランティアスタッフを募集いたします。

お手伝いをいただける方は、実行委員会事務局（電話：0267-88-3865）まで、お申込みください。

申込み期限は3月29日(金)までです。大勢の方のご応募をお待ちしております。

お知らせ

駒出池キャンプ場の予約方法・施設利用料等の変更について

■問合せ 産業振興課 商工観光係
☎0267-88-3956

駒出池キャンプ場は、平成31年4月から指定管理者による運営となります。

つきましては、予約方法・施設利用料等が変更になりますのでお知らせいたします。

詳しい内容については、当キャンプ場のHPをご覧ください。

★指定管理者

アドバンス株式会社

★営業期間

平成31年4月19日(金)～10月中旬

★今シーズンの予約・受付方法

●インターネット予約

3月18日(月)午前10時から受付開始いたします。

インターネット予約はこちらから

<https://yachiho-kogen.com/camp> (webサイト)



●電話予約及びお問い合わせ

4月1日(月)からとさせていただきます。

TEL 0267-88-2569

今年も皆様のご来場をお待ちしております。

お知らせ

国家公務員募集

■問合せ 人事院関東事務局 ☎048-740-2006～8

人事院は2019年度（平成31年度）に次の国家公務員採用試験を行います。

◆総合職試験（院卒者試験、大卒程度試験）

受付期間 3月29日(金)～4月8日(月)

第1次試験日 4月28日(日)

◆一般職試験（大卒程度試験）

受付期間 4月5日(金)～4月17日(水)

第1次試験日 6月16日(日)

◆一般職試験（高卒者試験、社会人試験（係員級））

受付期間 6月17日(月)～6月26日(水)

第1次試験日 9月1日(日)

【注】申込みはインターネットにより行ってください。

申込先QRコード



<http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm>

information

お知らせ

保健推進員ブロック学習会について

■問合せ 健康福祉課 健康づくり係・保健係
☎0267-86-2528

保健推進員の皆さんは毎年、6つのブロックにわかれて、健康に関する学習会を行っています。

平成30年度は「腎」をテーマに学習を行いました。学習した内容は福祉と健康のつどいで発表をし、地域への普及活動を行っています。

学習した内容は、分かりやすくまとめて、佐久穂町のホームページに「保健推進員の活動紹介」として掲載していますので、ぜひホームページをご覧ください。



福祉と健康のつどいでの発表

News

「都市鉱山から作る！みんなのメダルプロジェクト」目標達成！

■問合せ 住民税務課 生活環境係
☎0267-86-2552

2月、2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックで選手たちに贈られる各種メダルの材料を都市鉱山（携帯電話などに使用されている多くの貴金属類）を活用し作るという「都市鉱山から作る！みんなのメダルプロジェクト」から、各メダルの材料の収集見込みがついたことが発表されました。佐久穂町からもメダルへと生まれ変わるべく回収ボックスいっぱい携帯電話が皆さんから提供されました。2020年の東京大会では、全国から集められた携帯電話などの小型家電から回収された材料で作られたメダルが選手たちに贈られます。

佐久穂町では、引き続き使用済小型家電の回収を行っています。佐久・八千穂の両庁舎及び生涯学習館・茂来館に回収ボックスが設置されていますのでご利用ください。



お知らせ

役場庁舎 危険ごみステーションのご案内

■問合せ 住民税務課 生活環境係
☎0267-86-2552

佐久穂町では、佐久・八千穂両庁舎に「危険ごみ」（スプレー缶・ガス缶・ライター・乾電池・水銀体温計・寒暖計）、「蛍光管・電球」、「陶磁器食器」を出すことができる常設の「危険ごみステーション」を設置しています。危険ごみステーションは、土日や祝日であっても利用できますので、対象になりますごみの排出にご利用ください。場所がわからないなどご不明な時は、住民税務課生活環境係へお問い合わせください。

お知らせ

広報さくほへ広告を掲載しませんか

■問合せ 総合政策課 情報政策係
☎0267-86-2553

「広報さくほ」では、企業の皆様からの広告を掲載しております。広告を出したいけど、どこに出せばよいかわからないの方、広告の範囲拡大を検討している方、「広報さくほ」をぜひご利用ください。広告掲載料金は下記のとおりです。

	1枠 (44×85mm)	2枠 (44×175mm)
町内業者	2,500円	5,000円
町外業者	5,000円	10,000円

申込方法・広告範囲等についてはお問合せください。

町長コラム オール佐久穂のまちづくり

佐久穂の野菜づくりの可能性

花卉、果樹、あるいは家畜などの品評会というのは、良く知られています。野菜の栄養価の高さを競う全国コンテストがあるのを初めて知りました。（社）日本有機農業普及協会の主催の「オーガニックエコフェスタ栄養価コンテスト」がそれです。今年は2月24日に徳島県で開催され、当町佐久穂で「のらくら農場」を営む萩原紀行さんが出品した野菜3品目（カブ、ケール二種）が、すべて最優秀賞を受賞し、結果、総合グランプリを受賞したということです。このコンテストでは、野菜のおいしさである「糖度」、健康を保つために必要な「抗酸化力」「ビタミンC」の多さと、野菜の苦み、エグ味のもとになった「硝酸イオン」の少なさ、そして食べたときの美味しさの総合評価で選出されます。萩原さんの野菜は、一般に市販されている野菜のもつ栄養価を遥かに上回る数字をたたき出し、総合グランプリに輝きました。海外からも注目されているコンテストで、受賞後には中国からのテレビクルーに取り囲まれたようです。

このコンテストの目的がおそらく、「栄養価の高い高機能野菜を生産している農家は誰なのか」を明らかにして、他の農業者に対して、グランプリ受賞の技術を伝授してもらうためのコンテストとのこと。そのため、受賞者はその技術をすべて公開することとなり、年々コンテストのレベルが上がり、連続して受賞するのは至難の業とのこと。

萩原さんのお話では、「佐久穂町の強みである、高原野菜、花卉、果樹、畜産などに加えて、高機能野菜を栽

培するには、水が極めて重要です。当町の自然と栽培方法が噛み合えば、全国最高峰の高機能野菜を生み出すことができそうです。今回の受賞は、佐久穂という土地で、すばらしい高機能野菜を皆で収穫できるようになるための通過点です。」とのことでした。

農作物は、工業製品のように「つくる」「製造する」ものではなく、自然の恵みによって「とれる」「でる」ものだ。生産性や経済性だけで計れるようなものではないとお考えの方もいるかもしれません。

しかし技術がオープンになり、日本でも海外でも高い品質の野菜が作られるようになると、自然の恵みだけではなく、人為的な力でもって美味しく栄養価の高い野菜を作っていく必要があるのだと感じます。

佐久穂町には、日照量の多さ、水の豊かさ、1日の寒暖差の大きさなど、大いなる自然の恵みがあります。その一方で畑の1枚毎の面積は決して大きくなく、冬場の寒さで野菜づくりはできません。年を取り農業を辞めていく人たちもいます。

しかし萩原さんの農場のように、科学的な知見をもとに、チームの力をあわせて野菜を作っていくことで、日本で最高峰の野菜が作れるようになり、全国の消費者に喜んで食べてもらっているという事実は、佐久穂の農業の未来に夢を感じ、前に進む勇気をもたらえます。





編集・発行 佐久穂町公民館 〒384-0503 長野県南佐久郡佐久穂町大字海瀬2570 TEL.0267-86-2041 FAX.0267-86-2939

人権フェスティバルin佐久穂 が開催されました

2月3日(日)茂来館において、第14回を数える人権フェスティバルin佐久穂が開催され、多くの皆様にご来場をいただきました。

コーラスフィオレンテの皆さんによる合唱発表は「愛は花、君はその種子」「佐久、故郷を愛せるように」の2曲を披露され、会場がすばらしい歌声で包まれました。さわやか佐久穂町ネットワークの皆さんは男女共同参画をテーマとした寸劇を発表し、女性と男性が日常生活の中でお互いに認め、理解し合い共に力を合わせて良い社会を築いていこうという内容を分かりやすく伝えてくださいました。

講演は、「大丈夫、働けます。～人と組織が幸せになる仕事の作り方～」と題し、NPO法人FDA理事長の成澤俊輔さんに熱いご講演をいただきました。

人権作文発表

「本当の友達」とは



六年三組 田邊千佳子

みなさんは、「本当の友達」とはどんな人だと思いますか？ 私は、その人という自分の好きな自分であられる人だと思います。

では、どんな人となら自分の好きな自分でいられるのでしょうか。私の理想の友達像は「自分を信じてくれる人」です。例えば、私がイライラして、その人にあたってしまったとします。そうしたら、「なんでおこるの？」ではなく「どうしたの？」と声をかけられると、とてもすてきだと思います。そして、私

は自分の好きな自分であるために、私から友達を信じられるようにしたいです。

ですが、どうしても信じられない人っていませんか？ 例えば、よくうそをつく人。うそをつかれると、私は、その人のことがよく分からなくなってしまう。うそをつかれなくって信じてられなくなってしまう。また、人のかげ口をよく言う人。人のかげ口をずっときいていると、私はあまり良い気分にはなれないし、一緒にいたくなくなります。そして、その人のことが少し苦手になっちゃいます。なので私は、自分がされていやなことは人にやらないようにしたいです。

以前、ある人に私の理想の友達像を話したことがあります。私の話を聞いたその人は、最初はすごく共感してくれてうれしかったのですが、私が思っている「自分を信じてくれる人」とその人が思っている「自分を信じてくれる人」の意味が少し違ってしまっていることがあり、歯がゆく感じたことがありました。それから、

自分の意見をおしつけてしまうような関係ではなく、横の対等な関係が大切なのではないかと考えるようになりました。

このようなことがあってから私の中の理想の友達像に「対等な関係」が加わりました。相手と上下関係がなく、対等な関係でいられる、そして相手のことを疑うことなく信じられる人が、私の理想の友達像であり、「本当の友達」と言えると思います。私は来年中生になります。クラス替えがあり、新しい友達関係をつくらなければなりません。これを機に私自身が私の思う理想像に近づけるように努力していきたいです。

いじめはすぐ止めるんじょ！



七年二組 関谷彩風

小学校四、五年生のころ、私のクラスではいじめがありました。昔は、テレビでのいじめの報道を見ていても、自分には一生関わりのないことだろうと思っていました。ですがそのいじめは、一人の人からあつという間にクラス中へ広まり、みんながたった一人の人をいじめていました。いじめが始まったのは小学四年生でのことでした。それから毎日のようにだれかがその子の物にふれると、「○○(その子の名前)菌がつくよ」などと言っていたり、その子のことをみんながさけていたりしていました。そして、そのいじめは五年生になっても続きました。私は、何度も「やめようよ」と言おうと考えてきました。でも、その度に、「それで自分がいじめられたらどうしよう」と考えてしまい、まったくいじめを止めることができませんでした。ですが、五年の二学期、クラス、そして私自身を変える出来事がありました。私はある日、一人の友達に、先生に生活記録と一緒に言わないか

と言われました。すぐに私は肯定の言葉を返しました。その日家に帰るとすぐに生活記録にいじめのことを書きました。次の日、その友達と私は先生に呼ばれ、約一年半のすべての出来事を話しました。その数日後先生がクラスの時間をつくり、いじめについての話をしました。先生はとても悲しそうでした。先生は泣いていました。いじめられていた子もとても泣いていました。いじめていたクラスのみんなも、泣いていました。私は、いじめていた私たちが泣いていいのだろうかと思いました。次の日から、私たちのクラスはいままで通りのみんなが仲の良い明るい良いクラスになっていました。今までいじめられていた子も笑顔でした。私はすごくうれしかったし、スッキリしました。

中学生になった今、今年もその子と同じクラスです。その子は、今もすごく楽しそうです。四、五年生のときのことがうそのようです。私はこれからは、今までのようなことがないように、しっかりといじめは止めていきたいし、私は、クラスの副学級長なのでいじめが一生おこらないようなクラスをつくっていきたいです。そして、私は少しだけ心が成長した今だからこそ分かることがあります。人はみんなひとりじゃないということ。もしたとえ私が一人で自分から「やめようよ」と言っていたとしても一人ではない、いじめられていたその子がいます。それにはまずは自分自身の事を考えるよりも前にその子の事を考えなければいけないということ。その子がずっと一人だったということ。そういうのをもっと考えようと思いました。私は、これからはもっととはやくに自分からいじめや人権にかかわること、人の心を傷付けるようなことを無くしていきたいと思いました。



18組の出演者によるステージ発表は、コーラス・ジャズバンド演奏・ギターの弾き語り等、様々なジャンルやパフォーマンスがあり、町内外から会場を訪れた延べ約650人を超える方々を魅了し、楽しませてくれました。また、寄せ鍋の具材を快くお寄せ下さった皆様のおかげで美味しい寄せ鍋が出来上がり、素晴らしい交流会も開催することができました。様々な形で参加、ご協力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



国境なきジャズ団



佐久穂小学校金管クラブ



ぐるーぷ蒼



スマイルかふえーず



輿水久男



アロハユウ+A+大正琴同好会



A&M



高見澤千登美



ハーブメイツ



佐久穂ウインドオーケストラ

2月17日 寄せ鍋コンサート



ライヤーリップス&フラプアナニ・レイホーク



OTN Net-Work



佐久穂中学校・小海高校吹奏楽部合同バンド



ハッピーレインボー



友野国男さん



ハッピーズ



ゲルニ斗楽団



大日向に住んでいる人々

げんきだ！HOO

佐久穂町スポーツ推進委員会

スポーツ推進員だより

私たちスポーツ推進委員は「町民の皆さんの体力や健康の維持・向上」を目的とした活動を一年間通して行ってきました。

町民ハイキングの企画運営、スマイルボウリング大会は年二回開催し、町民の皆さんに参加をいただきました。

町民ハイキングは五月十三日に開催され、群馬県上野村を散策して、午後は「せせらぎの湯」で疲れを癒し一日楽しく過ごしました。

更に十月八日には軽井沢ウォーキングを開催することができ、晴天に恵まれ町民の体力向上の推進に役立つことができました。



☆大人も子どもも男女関係なく
チーム一丸となつて

楽しめるのが魅力☆

スマイルボウリングは、皆さんの地区に向いて一緒にご紹介・体験が可能ですので、興味のある方は公民館へご相談ください。



☆「ゲーム」や「体力向上トレーニング」を通じて、仲間づくりや運動能力、スポーツへの興味、関心を高めていく☆

年長児から小学六年生まで参加できるわくわくチャレンジ教室では、五月から十二月まで八回の活動を行いました。体育館での活動や駒出池でのミニキャンプ、古谷ダム上流での川遊びや茂来館での餅つきなど親子で楽しめる活動も多く取り入れてきました。

☆正しい姿勢！

正しい呼吸法で！☆

ウォーキング教室は三回開催しましたが、子どもからお年寄りの方まで佐久穂町内の自然を楽しみながら歩きました。



これからも各地区のサロン、健康教室でニュースポーツを体験していただくなど、住民からのご要望に応えをしてまいります。

今後ともスポーツ推進委員の活動にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



分館対抗ラージボール卓球大会

試合結果

優勝
高野町第三B分館
準優勝
大日向第二分館
3位
上区第一分館

二月十日（日）第十四回分館対抗ラージボール卓球大会が、しらかば社会体育館で開催されました。
二十分館二十五チームが熱戦を繰り広げました。

優勝した高野町第三分館

喜びの声



今年も当分館ではA・B二チームが参加し、九歳から八十一歳の選手で構成されたBチームが優勝することができました。家族総出のチームも多く、また小学生主体で賑やかに盛り上がり、目的にかなった大会でした。
運営本部の方々にご尽力いただき、予定通り終了することができました。
全分館、選手、役員、応援団の皆様ご苦勞様でした。楽しい一日をありがとうございました。

第14回分館対抗ラージボール卓球大会結果表

上位3チームによる決勝リーグ戦

中	央	上 区 第 一	下	畑	高野町第三B	大日向第二	上	畑
---	---	---------	---	---	--------	-------	---	---

各ブロック1位チームのくじ引きにより対戦相手を決定

順位	Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック	Eブロック	Fブロック
1位	高野町第三B	上 畑	下 畑	中 央	大日向第二	上 区 第 一
2位	高野町第一	八 郡 A	穴 原	余 地	畑 ケ 中 B	高 岩
3位	四 ツ 谷	うそのくちA	上 区 第 二	大 高 A	八 郡 B	か さ な り
4位	畑 ケ 中 A	大 高 B	佐 口	高野町第三A	うそのくちB	城 山
5位	千 ケ 日 向					

第一回 合同華道展の開催



二月二十三日・二十四日と奥村土牛記念美術館では、今回初めて町内在住の方を中心とした各流派等に所属する、華

道愛好家の皆様の合同華道展を開催致しました。

初日には、前町長の佐々木定男様や佐々木勝町長、小宮山雅則議長も来館され、時折、町民の皆様と談笑を交えながら館内を視察され、伝統と格식을重んじた素晴らしい作品の数々を鑑賞されました。



短歌

や

俳句

の

同好会の

作品

公民館短歌会・樹歌会

首垂れ眠りいるがにバックホー月の光よラバイ歌え
こうべ

石井 雪子

北風に揺れいる川辺の猫柳ちいさき花穂の共にゆれいる

市川 エツ子

スーパーの開店前の駐車場二羽の鵪鶉自在に遊ぶ

加藤 京子

突風がゴミ収集所の蓋飛ばす今日は立春春一番か

狩野 つる子

東から西に流れるもやのかげ日が出る毎に朝日が映る

川上 雅子

初孫は二十五歳に成長しスーツの似合う社会人となり

小須田てる子

囲はれ居しサフォーク一頭減りてゐる夕べの馳走もしやもしや

篠原 すみ江



松沢とみ子先生のご指導のもと、額作り、小物作りに毎回心躍らせております。
木々、花々、山並み、四季の移り変わり、四季折々の姿に関心を持ち、旅先でも花々に心奪われることもしばしば。
仲間同士も和気あいあいと楽しい教室です。
ぜひ一緒にしませんか。

まずは気軽に見学においで下さい。そして押し花にふれてみて下さい。
お待ちしております。
お待ちしております。



興味がある方は
ご連絡ください

押し花クラブ
かたくりの会

代表 岡部 淳子
電話 0267-86-3426

同好会等 文化活動団体 紹介

押し花クラブ

「かたくりの会」

活動日 毎月第一・第三木曜日
活動時間 13時30分～15時30分
活動場所 茂来館

落葉舞う林の中を四人組み真剣試合すマレットゴルフ

高橋 夏生

気持まで凍りそうなり風の中丈夫な体ふと母想う

高見沢 純子

空遠く子は学びをりその窓に今宵の月の光届かむ

内藤 史郎

鷺の飛ぶ空の青さよ只青く七羽並びて千曲川の上を

西沢 楨

一本木公園に咲く秋バラのほの香漂い心なごめり

畑 繁男

あまりにも早く時間が過ぎ去りぬ私の傍で止まっていますよ

畑 二子

手を振りて待ち合せ場所確認す赤いコートの友ひとりいて

吉田 敬子

宿命を忘れて生きる時もある友からチヨコの届いた夜など

横堀 咲紀

暗暗と唐松の森雪原をこのマチエールに夕日がほしい

中島 雅子

第31回 宮田三郎木版画展

～日本の文化・建築篇～



「紀三井寺」



「トラビスト修道院」

○会期 平成31年3月20日(水)～3月31日(日)
午前9時から午後6時まで(月曜日休館)

○会場 佐久穂町生涯学習館
「花の郷・茂来館」メリアホール

入場無料

平成31年度 佐久穂町 スポーツ少年団員の 募集について

佐久穂町公民館では平成31年度の小学生以上を対象としたスポーツ少年団員を募集しています。

種目は、軟式野球、ミニバスケット、サッカー、ソフトテニス、バレー、卓球、柔道、少林寺拳法です。

スポーツ少年団では、年間を通じて団員を募集しております。

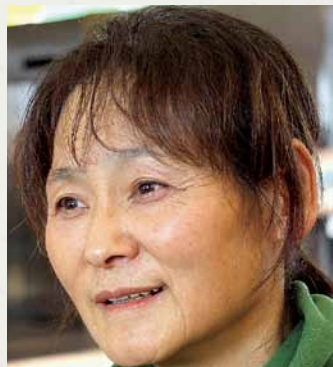
詳しくは佐久穂町公民館(86-2041)までお問い合わせください





発見! さわめびと

過酷さで知られる「佐久市強歩大会」に連続12回出場中のアイアン・ウーマン。



きくはら ゆきこ 菊原雪子さん

1955年佐久市生まれ。結婚を機に佐久穂町に。51歳の時に「佐久市強歩大会」に出場。以来、12回連続出場中で自己最高は4回目に記録した「10時20分ゴール」。「でも、記録、順位はまったく気にしていません」。練習は週4日、早朝1時間の速歩きで、「滝見の湯」(南相木村)まで歩くことも。「佐久鯉マラソン」10kmの部に毎年出場。現在、千曲病院に看護助手として勤務(勤続20年)。家族は夫と息子夫婦に孫3人の7人。下海瀬在住。

「大会翌日、職場に行くと、『何、今年も行ってきたの?』『ハイ、頑張ってきました』『すごいね!』って。そして、何事もなかったように仕事をする。それが、自分ながらカッコイイかなって。自己満足ですけどね(笑)」

葦

崎市―佐久市間七八kmを夜通しで歩く「佐久市強歩大会」。今年で五二回を数える歴史あるこの大会に現在一二回連続出場中の鉄の女が菊原雪子さんだ。

大会は例年、県内外から一〇〇人を超える参加者が集まる大きなイベントだが、レースを取り巻く環境は過酷だ。

まず七八kmという距離。時速四kmで歩いたとしても約二〇時間。制限時間の一八時間(出発は午後九時。ゴールのタイムリミットは翌日午後三時)をオーバーしてしまう。そして高低差。出発地点の葦崎と最高地点の野辺山との高低差は約一〇〇〇m。さらに寒暖差。標高一三〇〇mを超える野辺山周辺は四月といえども、朝方は氷点下になることも珍しくない。しかも夜通し歩かなければならないため、睡

魔との戦いもある。「歩きながら考えていることで何か? たただ、ゴールに着きたい、それだけです(笑)」

「もともと、頭を使うより体を動かすことが好き(笑)」という雪子さん。五〇歳の時に「アサマスタートクロスウォーク」(小諸市―婦恋村間三一km)に出場。これが長距離ウォークにハマるきっかけとなった。

そして翌年、「以前から一度は歩いてみたいと思っていた佐久市強歩大会」出場を果たす。だがこの時は小海付近で無念のリタイア。朝方の寒さでヒザを痛めてしまったのだ。「経験者の方に半袖半ズボンで大丈夫と聞いて、軽装で出たのが失敗でした。あ、これは明日の仕事に差し障りがあるなと思ってやめました」

だが、このときの悔しさがバネになり、二回目以後はすべて「踏破」してきた。過酷なレースだけに、いろんなトラブルに見舞われるが、毎回悩まされるのはマメ。「五本指の靴下を履いても、幅広の靴を履いても、いっぺんに七八kmも歩くと、できちゃうんですね」そして、つらいのは睡眠。「眠くならないようにアメをなめたりお菓子を食ったりするんだけど、野辺山あたりになると眠くなっちゃう。いつの間にか目を閉じているという感じです」ただ、数年前から弟さんが参加。おしゃべりをしながら歩くようになったので、睡眠魔もやや緩和されるようになった。六年ほど前から「一緒に歩こうよ」と引っぱり込んだご主人も参戦。「でも、主人はトイレが近いせいもあって、マイペースで歩いています(笑)」

七八kmも歩けば、当然筋肉痛が気になるところだが、「大会後温泉に浸かって自己流のマッサージをするので、筋肉痛とは無縁」という。

大会出場の話は家族以外には話さない、というルールを自らに課しているのも、ユニークだ。

「大会翌日職場に行くと、『今年も行ってきたの?』『ハイ、頑張ってきました』



スタート前の菊原雪子さん。夜通し歩くためヘッドランプは必需品だ=スタート地点の葦崎小学校で

「すごいね!」って。そして何事もなかったように仕事をする。それが自分ながらカッコイイかなって。自己満足ですけどね(笑)」苦しいことばかりではない。「月や星を眺めたり、夜桜を見たり、菜の花もきれいですね。各所に設けられた無料休憩所で提供される豚汁やおそば、お茶も楽しみです」そしてついにゴールの瞬間がやってくる。「ゴールした時は、あーくたびれた。あー痛い、という気持ちとともに、今年も頑張れた、来年も頑張れるかなって。そしてうれしいのは、先にゴールした人たちに拍手で迎えられること。ふだん拍手されることなんてないですから(笑)」

ただ、昨年はやや自信を失くした大会でもあったそう。「坂道で踏ん張りが効かなくなっ、歳を考えるとやめどきかなって。でも、苦しかったことを忘れてまた出場するって、何だかお産に似てますね(笑)」